

第4回東郷地域協議会会議録(要約)

日 時 令和3年7月5日(月)PM7:00～PM9:00

場 所 平井公民館

出席者 委員28名(オンライン参加25名) 事務局3名

次第

- 1 会長あいさつ
 - 2 議事
 - (1) 令和4年度地域自治区予算の策定について
 - 3 連絡事項
 - (1) 地域マネージャーについて
 - (2) 中学生議会とのコラボについて
-

1 会長あいさつ

- ・日本列島が梅雨前線にかかって、大雨が今週ひどかったけれども、幸い東郷管内に土石流はなかった。まだ梅雨は続くので皆さん気をつけて、早く避難してほしい。最近、熱海で災害があった。土石流とコロナなどいろいろ災害があるが頑張っていきましょう。

2 議事

協議会の会議録署名

- ・定数30人のところ28人の出席があり会議は成立している。
- ・会議録署名について、会長及び署名委員を2名指名し署名をお願いした。

(1) 令和4年度地域自治区予算の策定について

第3回地域協議会で出た意見について、事務局が担当課等と調整した結果を報告した。

○主な意見

委員 学ぼうの柱の設楽原の戦い事業について、東郷沿革誌、それから南設楽群誌、それから昭和38年にできた新城市誌等を見ても、設楽原の戦いという記載はない。もう一度、勉強していただきたい。設楽原の戦いという言葉が出てきたのは、昭和60年度以降だと思う。それ以前はすべて長篠の戦いの中の設楽原決戦場だと思う。歴史認識を正しくしていただくようお願いをしたい。

会長 そのへんは検討の相違があると思うが、また検討していただきたい。

委員 暮らそうの柱のお手伝いチケットについて、東郷地区でも進めていきたいということだが、各行政区の高齢者世帯率など、今後細かなデータを参考にしないといけなくなってくると思う。新城地区は比較的まちななかだが、東郷地区は田舎で隣近所がより親密になっているので、お手伝いチケットまで作らなくても、すでにお手伝いしている可能性もある。色々な地区の現状を探った方がいいと思う。

委員 根本的などころを確認したい。今の議事は令和4年度地域自治区予算の策定につい

てなので、来年度の予算策定のために今検討しているのか。今年はどのような予算がついているのか。まだ腹に落ちていないので疑問が残っている。

会 長 昨年の予算を資料として見てもらっていたが、今は来年の予算を作っている。
事務局 今回の皆さんのお仕事は来年度市が実施する事業の計画を立てて市長に提案すること。ただ、去年提案された事業が今年実施されている中で、来年度も継続して行う事業もあるのでややこしくなっているが、継続している事業も確認しながら、その上で来年度どうしていくかを考える必要がある。

委 員 駐輪場の件だが、地域協議会が来年度事業としてこういうことをしたいと言っても、事業担当課がいやだといったら何も出来なくなる。本来はそうではないはず。地域協議会がこういうことをやりたいと言って、市長に報告するのが建前のはず。調整段階で、事業課が金や手間がかかるとか言ったら自治区予算は何もできなくなってしまう。もし金がかかるといったらケッターパークは同じくらいかかっていることになる。地域協議会がこういうことをやりたいという事業の予算調整は事務局の仕事だが、やるかやらないかは地域協議会が判断すること。地域自治区予算は別枠。これから考え方を直していただきたい。

会 長 本当はやりたいけど、あまりにも手間暇かかりすぎてしまう。行政課の予算をまったく無視してはできない。

事務局 地域自治区予算は何でも出来るわけではない。今のところの制度として、市の所管課がやっていく事業を地域協議会として提案するという。駐輪場の件は、費用面と労力面から見て、そこまでかけてまで市の行政課として事業を実施することはできないという判断だった。所管課が受けることができない事業は地域自治区予算として成り立たないので、今回は残念な結果となってしまった。あくまでもできるできないがあり、地域自治区予算事業計画策定要綱に基づいてやっている。100%望むとおりにできないことはご了承いただきたい。

委 員 そのようなことは一切地域自治区制度の説明資料には記載されていない。地域自治区予算は担当事業課とは別の枠だと聞いている。

事務局 確かに予算自体は所管課が持っている予算とは別となっているが、あくまでも担当課がやる事業を地域の方が考えるという大原則があるので、事業実施課は担当課がやっていく。

委 員 市の内部できちんと整理していただきたい。

地域計画の5つの柱ごとにわかれ、令和4年度地域自治区予算事業計画の検討を行った。グループ討議終了後、各柱のリーダーから議論内容の発表があった。以下発表要旨。

柱1 暮らそう

1-1 地域交通検討事業

- ・地域の足を考える会は来年度も継続。今年度と同様程度の予算を取る方向。

1-2 高齢者支援活動

- ・新城地域自治区で実施しているお手伝いチケットを参考とし、東郷地区型のものを考え

ていくこととなった。

1-3 定住促進

- ・宅地販売を売りたい人と売りたい人とのマッチングを今後煮詰めていけたら面白いのではないかと。

1-6 公民館 Wi-Fi 設置事業 ・ その他 共同墓地

- ・事業の検討を中止とすることになった。

柱2 守ろう

2-2 地域防災連携促進事業

- ・最近では熱海の土砂災害の被害が発生しており、東郷地域でも同じような災害が起こる可能性もあるので、各区の自主防災組織同士の横のつながりを作るために、本事業は継続した方がいい。
- ・避難所運営ゲームを実際の避難所を使って活用したりすれば色々な気づきがあるので、事業に取り入れていきたい。防災ボランティアの会で実施したことがある。
- ・千郷地区で実施している防災キャンプを東郷地区でも実施できればいい。

2-3 AED普及推進事業

- ・AED がどこにあるか周知できるようなものを作った方がいい。インターネットでAEDの場所は把握できるが、もっとパッと一目で分かるようなものが必要ではないか。

2-12 足下の安全対策

- ・道路の横にある樹木が伸びてきている。区から土木課に伐採要望を出しているが、できないのであれば、地域自治区予算でできたらと考えている。
- ・今回みたいに土砂災害で農道が被害にあった場合、国が全額保障してくれるようお願いする仕組みを作っておかないと市が全額負担となってしまう。

柱3 育てよう

3-1 子育て世代交流促進事業

3-4 関係人口創出促進事業

- ・どちらも実行団体に委託しており、3カ年の事業実施計画の確認がとれている。次回の会議までに各実行団体に来年度予算を聞き取りしていただきたい。

3-5 多世代交流事業

- ・元々ドラム缶風呂が予算立てされていたが、何をやるにせよワクチン接種が完了した段階ではないと、人を集めるイベントはやりにくい。今年度は事業を見送ったらどうか。
- ・来年度は八名でやっている共育コーディネーターという仕組みのやり方で、東郷地区の特技を持つ人たちをその方にコーディネートしていただいて、東郷学び学校を開催でき

るような組織や仕組みを作っていくところをやってみたらどうか。残り2回の会議で、来年度の事業内容の詳細やどこに委託していけるのかなど体制作りと骨格づくりをしていきたい。

(主な意見)

委員 コロナで使わなかった予算はどうなるのか。ストックされるのか。

事務局 コロナで実施しない事業は貯まるのではなく使われないだけ。補正予算でゼロ円に削らせていただく。

柱4 学ぼう

4-1 長篠設楽原の戦い事業

- ・検定試験の作成について生涯共育課も賛同してくれるとのこと。初級中級まで作る気まんまんだったが、まずは実行委員会の立ち上げのための募集チラシ印刷費と会議費を計上する。
- ・実行委員会の意見もいただきながらじっくり進めていく。来年度は実行委員会の立ち上げを進めていく予定。個別で設楽原歴史資料館の湯浅館長と一度打ち合わせを行ってくる。

柱5 楽しもう

5-3 スポーツバイク普及推進事業

- ・7月10日(土)に実行委員の方に聞き取りを行いたい。意気込みや長期的な視野などについて聞き取りを行い、現場の様子を見て、予算付けの方向を検討したいと思う。

5-1 東郷PR事業

- ・ホームページの維持費用の継続はするべき。東郷広報 PR 部の活動費用についても次回の会議で検討する。

3 連絡事項

(1) 地域マネージャーについて

- ・5月13日に地域協議会の会長が集まる連絡会議にて、市の方から地域自治区制度の発展形としての「地域マネージャー」の導入の提案を行った。
- ・本年度3地区分の準備検討予算を確保している。自治区によって考え方や実状が異なるので、導入を希望や関心のある自治区があったら、地域協議会で手を挙げてほしい。

(主な意見)

会長 昨年度地域計画が出来上がったが、計画の実行部隊を作らないといけないということ。市だけでは全部実行していくのは不可能。住民のみなさんで実行することは、これまでボランティアでやってきたが、将来的な持続可能性を高めるために、地域の中から地域マネージャーを選出して、実行部隊を作るための先導をしていく。

事務局 地域自治区制度自体も難しく、新委員さんが多い中で、地域マネージャーというこれ

までより先をいった話となり、なかなか理解しがたいと思う。本日は時間もないので、次の会議で時間を取らせていただいて詳細の説明をしたい。今の地域自治区制度では法的な制限などなかなかやりにくいところもあり、東郷をこれまでより一步先に進ませることができる制度として地域マネージャー制度というたたき台を市で考えたので、東郷として検討したいということであれば、今年度は準備予算があるので、検討していくかどうか考えていただきたい。

委員 前回いただいた資料はイメージだと思っている。実質的な事務取り扱いが分からないので、事務局の説明を聞いてから質問したい。

会長 地域マネージャーの役割、権限、決定権までは分からない。これからの詰め方によると思うが、現段階では興味のある自治区は手を挙げてほしいということ。

事務局 地域マネージャーを検討していく中で、東郷には今の制度のままでもいいから地域マネージャーは必要ない、という結論になるかもしれない。それでもいい。次回の会議だけでは結論を出すのは難しいと思うので、時間をかけてじっくりと協議していただきたい。

委員 検討部会の設置は今年度か来年度のどちらのことなのか。

事務局 今年度設置できるように3地域自治区分の予算を取っている。内訳は視察代や会議費など。ただ、今年度設置を見送ったからといって、来年度は設置できないということではない。

委員 来年度も設置できる見込みはあるのか。

事務局 来年度も今年度同様に地域マネージャー検討部会の予算を取っていく方針だが、市長選が控えているので確実とは言えない。

委員 決めるなら早いほうがいいのか。

事務局 結論は急ぐ必要はない。皆さんが地域マネージャー制度について理解し、東郷にとって検討が必要だということになればその時が検討を始めるタイミングだと思う。

委員 委員のみなさんが資料をきちんと理解してもらう必要があるので、出来るだけ読んでほしい。

会長 難しい判断になると思うが、今の地域自治区制度自体を完璧にこなしてからではないと。新たな制度ばかり増やしても簡単にはいかない。それでも、地域マネージャーを私がやるという人が現れればやることも面白いかもしれない。

(2) 中学生議会とのコラボについて

- ・東郷中学校生徒の10人程度の参加希望があった。
- ・予定とおり7月18日に東郷地域計画の勉強会、8月22日に課題を解決するためのアイデア発表会を開催する。
- ・会長、副会長以外で関心のある方がいれば連絡してほしい。

【21:00 終了】